

令和3年度 キャリア教育全体計画書

学校番号	38	学校名(課程)	軽井沢高等学校(全日制)
------	----	---------	--------------

1 全体目標

○ 自らの特性や長所を理解し、また価値観の異なる他者と協力し合い問題を解決できる人材の育成

2 現状・課題

興味・関心や3年間の高校生活で身につけたい力、卒業後の進路希望等について多様な生徒が在籍するので、全体指導のみならず、一人一人の生徒に対して個別で丁寧な指導を行う必要がある。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。
学校で言い換えた力でもよい。

- a 自己理解を深め、他者を受容することで豊かな心・価値観を持ち、社会に適応していくことができる力
- b 規律ある学校生活を送ることで、将来社会に出てから必要な資質・技能を身につけ、実践できる力
- c 自らの将来を見据え、計画を立てながら物事を行うことができる自己管理能力

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
① 自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 学級活動、生徒会活動・部活動・校外活動や、友人・教職員・地域・異文化の人々との交流を通し、様々な考えを持つ人がいることを実感し、相互理解を深めていく。〈①・②〉
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 生徒の発表の場を多く設け、自分の考えを相手にわかりやすく伝える表現力を育成していく。〈②〉
③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	ウ 就業体験や学校行事などを通して、勤労観を養い、自主的に、場に応じた言動が取れる社会性・人間性を身につけていく。〈②・③・④〉
④ 卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	エ 自己の長所・特性を理解し、将来に対する目標・夢を持ち、希望する進路実現に向けて努力する生徒を育成する。〈①〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・生徒の興味・関心を踏まえ、教科の学習が、実際の社会生活でどう役立ち応用されているのかを、具体的な事例を提示しながら指導していく〈1・2・3年〉
総合的な探究の時間	・自らの特性の理解、また特性の異なる他者を受容しようとする態度の育成〈1年〉 ・答えのない社会課題と向き合っていく力の育成〈2・3年〉
特別活動	・自己分析に基づいた進路探究、先輩の話を聞く会、進路講話、特別講演会
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・就業体験〈1年〉、学習合宿〈1・2年〉 ・平和学習(沖縄修学旅行)〈2年〉 ・進路ガイダンス、オープンキャンパス参加〈2・3年〉
地域や産業界等との連携	・就業体験〈1年〉 ・個々の課題探究テーマに応じてフィールドワークの実施〈2・3年〉
評価	・授業評価〈1・2・3年〉 ・生活・学習意識調査(軽井沢高校オリジナル質問)による生徒の意識変化の分析〈1・2・3年〉
中学校との連携 (指導の継続性)	・中高交流会を通しての情報の共有

校内の推進体制	・「総合的な探究の時間」の企画と検証(本校オリジナルのテキストを活用) ・教員がチームとなって、個々の生徒のキャリア教育の推進に当たる
キャリア・パスポートの取組	・オリジナルのポートフォリオを作成し、活動のフィードバックを図る

5 学年別指導計画

	1年	2年	3年
目標	○新しい環境に適応するとともに他者との望ましい人間関係を構築する。 ○学習活動を通して自己の能力適性を理解する。	○学習活動を通して、勤労観や職業観を養う。 ○進路実現に向けた課題を理解し、計画的に取り組む。	○自己の能力適性を的確に判断し、卒業後の進路について具体的な目標と課題に向けて研鑽する。
主な取組	○就業体験 ○進路学習・学習合宿 ○講演会・フィールドワーク ○留学生との交流	○修学旅行の事前・事後学習(地域フィールドワーク/平和学習) ○新役員の選出、留学生との交流 ○学習合宿	○卒業生講話 ○軽高会議の運営 ○進路ガイダンス ○留学生との交流
評価	・授業アンケート ・生活・学習意識調査	・授業アンケート ・生活・学習意識調査	・授業アンケート ・学校満足度アンケート

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動等	その他(面接・評価等)
1年	4 国語「自己理解と表現」から、自分自身について表現し、発表をする 7 体育「球技競技」では相手を尊重して試合ができる 夏季休業	自己理解ワーク 「総探テキスト」を使い情報収集能力などの育成 文化祭発表準備	新入生オリエンテーションでの講話 進路講話	総探自己評価 三者面談
	9 保健「現代社会と健康」から環境保全活動を考える 10 国語履歴書の書き方 12 現代社会「現代の社会と人間としてのあり方生き方」	就業体験オリエンテーション・事前指導 事後指導 就業体験提案会	就業体験活動(3日間) 科目選択ガイダンス	総探自己評価 授業アンケート 三者面談
	1 国語「随想」を読み、多様な物の見方や感じ方に触れる 春季休業	自己探究のまとめとして1年間の活動を経ての気づきを発表する	進学研究、職業研究 進路講演会	総探自己評価 授業アンケート
	2 家庭「自分らしく生きる」から現代社会での男女共同参画について学ぶ 6 複数の教科で「沖縄について」扱う(修学旅行の事前学習の一環)	「比較」・「統合」する力の育成 修学旅行事前学習(平和学習/軽井沢フィールドワーク) クラス見学先の計画立案と発表 文化祭展示(沖縄展)発表	進路ガイダンス 職業研究 グアム生との交流	総探自己評価 三者面談
	9 数学「三角関数」を社会現象や自然現象の解明と結び付けて理解する 1 国語の論理的文章から論の構造を学習する 春季休業	「総探テキスト」を活用しての比較・統合・分析力の育成 修学旅行を通しての地域課題探求報告会の実施 課題探究発表会でのプレゼンテーション	進学研究、職業研究	総探自己評価 授業アンケート 三者面談
2年	4 政治経済「現代社会の諸課題」からレポート・新聞・ニュース報道など、資料の活用法・発表の仕方を学ぶ 夏季休業	個々の探究課題を据え、情報収集や仮説設定などを行う 仮説実証のためのフィールドワークなど	進路ガイダンス グアム生との交流 事業所見学 オープンキャンパス	総探自己評価 三者面談
	11 国語「実用国語」で自分の興味関心のあることについて調べまとめる 1 グローバルスタディ「プレゼンテーション」で関心のあることについて発表をする	協働学習を通して、自己のテーマを深めていく 課題探究発表会でのプレゼンテーション	個別進路指導 社会人教養講座	総探自己評価 授業アンケート 三者面談 進路状況のまとめ(傾向と特徴の分析)
	4 家庭「自分らしく生きる」から現代社会での男女共同参画について学ぶ 6 複数の教科で「沖縄について」扱う(修学旅行の事前学習の一環)	「比較」・「統合」する力の育成 修学旅行事前学習(平和学習/軽井沢フィールドワーク) クラス見学先の計画立案と発表 文化祭展示(沖縄展)発表	進路ガイダンス 職業研究 グアム生との交流	総探自己評価 三者面談
	9 数学「三角関数」を社会現象や自然現象の解明と結び付けて理解する 1 国語の論理的文章から論の構造を学習する 春季休業	「総探テキスト」を活用しての比較・統合・分析力の育成 修学旅行を通しての地域課題探求報告会の実施 課題探究発表会でのプレゼンテーション	進学研究、職業研究 オープンキャンパス参加 グアム派遣(選抜者)	進路希望調査記入(本人の希望、家庭の意向)
3年	4 政治経済「現代社会の諸課題」からレポート・新聞・ニュース報道など、資料の活用法・発表の仕方を学ぶ 夏季休業	個々の探究課題を据え、情報収集や仮説設定などを行う 仮説実証のためのフィールドワークなど	進路ガイダンス グアム生との交流 事業所見学 オープンキャンパス	総探自己評価 三者面談
	11 国語「実用国語」で自分の興味関心のあることについて調べまとめる 1 グローバルスタディ「プレゼンテーション」で関心のあることについて発表をする	協働学習を通して、自己のテーマを深めていく 課題探究発表会でのプレゼンテーション	個別進路指導 社会人教養講座	総探自己評価 授業アンケート 三者面談 進路状況のまとめ(傾向と特徴の分析)
	4 政治経済「現代社会の諸課題」からレポート・新聞・ニュース報道など、資料の活用法・発表の仕方を学ぶ 夏季休業	個々の探究課題を据え、情報収集や仮説設定などを行う 仮説実証のためのフィールドワークなど	進路ガイダンス グアム生との交流 事業所見学 オープンキャンパス	総探自己評価 三者面談
	11 国語「実用国語」で自分の興味関心のあることについて調べまとめる 1 グローバルスタディ「プレゼンテーション」で関心のあることについて発表をする	協働学習を通して、自己のテーマを深めていく 課題探究発表会でのプレゼンテーション	個別進路指導 社会人教養講座	総探自己評価 授業アンケート 三者面談 進路状況のまとめ(傾向と特徴の分析)